



県内高校科学部合同発表会を行いました。

本校 SSH で取り組んだ研究開発の成果を県内に波及させるため、2月23日（水・祝）に佐賀大学の先生や佐賀県教育委員会の先生を講師に招いてオンラインで発表会を実施しました。発表会には、県内6校の科学系部活動及び本校理数科2年生の課題研究、併せて20テーマが発表を行いました。



開会挨拶(本校校長)

当初は、広いホールに集まって発表会を行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の拡大により急遽オンラインでの開催となりました。参加した生徒たちは大学の先生などから指導助言を受けるだけでなく、互いに質疑応答を行って交流を深めました。指導助言を頂いた先生方からも、高校生の熱意と研究レベルの高さに高い評価を頂きました。この発表会で頂いた助言や、他校の研究手法などを取り入れて研究を進めることで、県内高校の研究レベル向上に繋げて欲しいと思います。



＜課題研究物理班（新しい防音方法の提案）＞ 自分達の発表をたくさんの人に知ってもらえた貴重な機会となった。気づくことができなかった新たな発見も多く、実験の欠陥や甘さに気づくことができた。双胴型防音壁の実用化に向けて、今回もらった意見を確実に消化していきたい。



＜課題研究化学班（手軽にコロナを防ぐには？）＞ 今回発表して、自分たちにはなかった新しい考え方を知ることができた。また、先生からの指導や質問を通して、研究の中で曖昧になっていた部分が明らかになったので、詳しく調べてみたいと思った。この経験を課題研究最終発表会につなげたい。



＜課題研究生物班（ユーグレナ培養における最適環境）＞今日の経験は、今後プレゼンをする時のベースと自信になると確信した。他の研究を見て、どの研究も深く考察し、データを正確に集めていて圧巻された。同じように研究に取り組んでいる人たちと質疑などで意見を交換する事に喜びを感じた。



＜課題研究数学班（グラフアート）＞今回は、オンラインでの発表だったので自分たちが研究してきたものをうまく発表できるか不安があったが、しっかりと発表することができた。また、新しくこれから研究をするための助言や質問もあったので今回の発表は、とても有意義で貴重な体験となった。



＜課題研究宇宙班（断熱材はどのように浸食されるのか）＞今回の発表会は、当初の予定と違う形で行われる事となったが、自分たちが研究してきたことを校外の方に知って頂くことができる機会が得られたことが何よりも嬉しかった。



＜科学部1年生（金属錯体の色から見たd軌道の予測）＞今回の県内科学部合同発表会を通して他校の興味深い研究を聞くことができたのに加え、自分たちが今まで研究していて気付かなかった点に気づくことができたのでとても有意義な経験になった。